



1月のほけんだより



2021/01/04

発行

新年明けましておめでとうございます。12月、新型コロナウイルスの感染者が増え続け、年末年始はお出かけを控えていたご家庭も多かったのではないのでしょうか。日本には古くからかるたや凧揚げ、すごろくや福笑いなど家や近所で出来る遊びがたくさんあります。こんな時こそ、日本伝統の遊びをご家族で楽しんでみてはいかがでしょうか。

東京都では12月末1000人を超える感染者が出ています。季節的なこともあり、今後も増えていくことが予想されます。今一度、下記をご理解いただきご協力をお願いいたします。

『新型コロナウイルス感染症における保育の基本的な考え方』 ～三鷹市より～

○衛生管理

- (健康観察) 登園前検温で37.5℃以上ある場合(解熱後24時間以上経過観察)、咳などの感冒症状がある場合は登園を控えていただく。
- (マスクの着用) 園児は原則マスクはしない。2歳以上:咳・鼻水がある場合は、可能ならばマスク着用する。
- (こまめに換気) 定期的に2方向からの換気を30分から1時間毎に行う。
- (手洗いの徹底) 石鹸と流水で30秒程度手洗いする。
- (環境整備) テーブル、ドアノブ、手すり、玩具などをアルコールや次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

以上、衛生面で三鷹市から出されていて、園でも上記に準じて行っています。他に行っている対策は各クラスに張り出しますのでご覧ください。

〈園からのお願い〉

- *送迎時:玄関前のアルコール手指消毒、マスクの着用、送迎は速やかに。
- *登園前検温の連絡板への記入(すみれ、れんげは連絡ノート)
保護者の方の登園前検温も引き続きお願いします。
送迎時、体調不良の時は玄関対応になりますので事前にご連絡ください。

《やけどに注意》

家にいる時間が長くなると、熱源に触れる機会も増えると思います。食べ物(スープ・カップラーメンなど)・生活用品(使い捨てカイロ・ホットカーペットなどの低温やけど、ポットやファンヒーターの吹き出し口など)家庭にはたくさんの熱源があります。特に低温やけどはすぐに痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌が赤くなり痛痒いようなら注意が必要です。

〈応急処置〉痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分位冷やし、発赤部位が広い、水疱がある(水疱はつぶさない)、痛みがある時は病院受診しましょう。

